

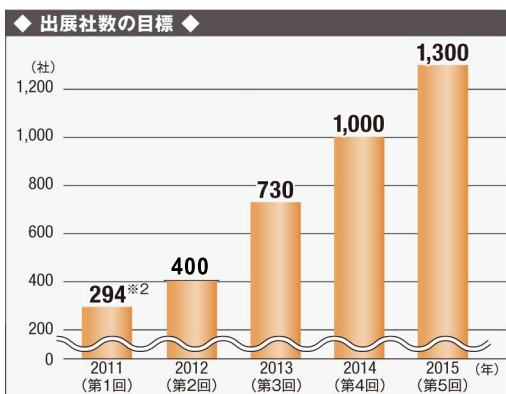
1 注目のバイオフォトニクスをテーマに加え、開催!

前回の「メディカルフォトニクス」のテーマに加え、医療のみならず、生体科学、創薬研究にも関連する「バイオフォトニクス」のコンセプトを追加。さらに多くの技術者・研究者を本展に動員します。医療機器メーカー、バイオ・創薬研究者、大学・学会関係者に、製品・技術を売込む絶好の機会となります。

■ 前回来場企業 (一部抜粋、企業名50音順)

- 旭化成クラレメディカル(株)
- (株) カネカメディックス
- (株) 生物資源応用研究所
- 日本光電工業(株)
- アロカ(株)
- (株) キヤノン(株)
- 積水化学工業(株)
- パナソニックヘルスケア(株)
- (株) 医学生物学研究所
- コニカミノルタヘルスケア(株)
- 大研医器(株)
- (株) 日立製作所
- (株) 医器研
- (株) 細胞科学研究所
- (株) タニタ
- フクダ電子(株)
- (株) 池田理化
- GEヘルスケア・ジャパン(株)
- (株) DSファーマバイオメディカル
- 富士フイルム(株)
- ウシオ電機(株)
- シーメンス(株)
- テルモ(株)
- ベックマン・コールター(株)
- エア・ウォーター(株)
- シスメックス(株)
- 東海光学(株)
- HOYA(株)
- オムロンヘルスケア(株)
- (株) 島津製作所
- 東芝メディカルシステムズ(株)
- 三菱化学メディエンス(株)
- オリnbasメディカルシステムズ(株)
- ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
- (株) トプコン
- (株) 横河電機
- (財) かずさDNA研究所
- (株) 生体分子計測研究所
- ニプロ(株)
- など

2 日本最大 400社^{※1} が出展!



本展は日本最大の光・レーザー総合技術展Photonix (フォトニクス) 内で開催。世界中の業界関係者と効率的にビジネスができる場として2012年は400社、2015年には1,300社が出展するアジア最大の専門展となります。



※1 Photonix内 併催展合計 ※2 実績

3 国内、海外から 30,000名^{※3} が来場!

医療機器・研究支援機器の開発者、バイオ・創薬研究者をはじめ国内外から有力ユーザーが来場。商談・技術相談の絶好の機会です。 ※3 併催展を含む、予定。前回2011年は16,078名。

前回来場者の声 (来場者アンケートより一部抜粋)

この他にも多くの方が本展に来場し、製品を導入しています。

(株) ベアーメディック	開発部	オリンパス(株)	システム事業推進部	HOYA(株)	R&D センター
以前から検討していたレーザー関連企業と商談。見積りを依頼し、サンプルテストまで済んだ。これから価格交渉だが、おそらく 3,000万円ほどの導入 となる見込み。		光ファイバ、光源などを主に見て回った。新製品があるブースにはなるべく立寄るようにしている。まずは 数十万円ほどの試作発注 になる予定。		内視鏡の光学設計などに使う、ソフトウェア、解析ツールに関して商談を行った。後日の訪問を依頼し、現在も導入検討中。製品の実演を行っている企業とは商談を進め易い。	

来場者数の原則

来場者数の発表に対する 基本理念

1. 来場者数の水増しをせず、正直に発表します。これは出展企業に対する義務であると考えます。
2. 数字の水増しは、見本市の内容の偽装であり、出展企業に対する詐欺行為であると考えます。
3. 見本市の終了直後に、来場者数だけでなく、「集計方法」も厳密に文書で発表します。

数え方の三大原則

1. 会場に来場し、登録の際に受付で提出された名刺1枚を、1名と数えます。
2. 一度登録した人が会期中に何度来場しても、1名としてしか数えません。
3. 出入口を通過するたびに集計機械などで数える方法は、実質上の水増しと見なします。したがって、そのような集計方法は採用しません。

メディカル、バイオ分野における
貴社ビジネス拡大のために ぜひご出展ください